

rubix rest

by America's Best Bowstrings



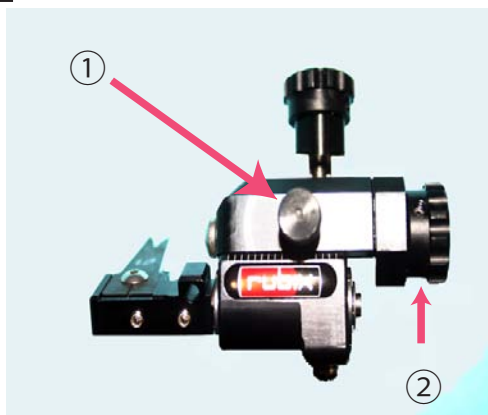
右側がブレード仕様のターゲットタイプ、
左側がファールアウェイ仕様のハンティングタイプです。
仕様の切り替えは簡単に行えます。

①ブレード仕様(ターゲットタイプ)として使用する場合

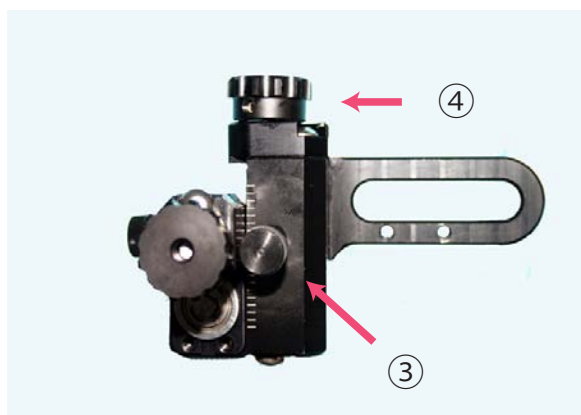
メーカー出荷の段階ではブレード(ミディアムブレード)仕様にセットされていますので、好みの強さのブレード(ナンバーが大きいほど固い)に交換の上取り付けてください。

調整 -1

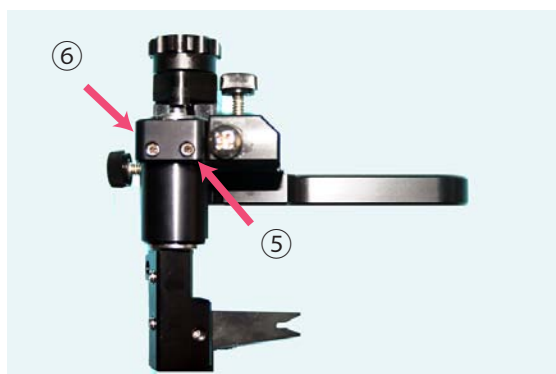
レストの位置調整



左右を調整する場合には①のノブを緩め、
②のダイヤルをクリックします。
ダイヤルを手前に回すとレストは左に、
前方に回すと右に移動します。
1クリック当りの調整幅は約 0.003"
(0.0762mm) です。



上下を調整する場合には、③のノブを緩め、
④のダイヤルをクリックします。
ダイヤルを右に回すとレストがダウン、
左に回すとアップします。



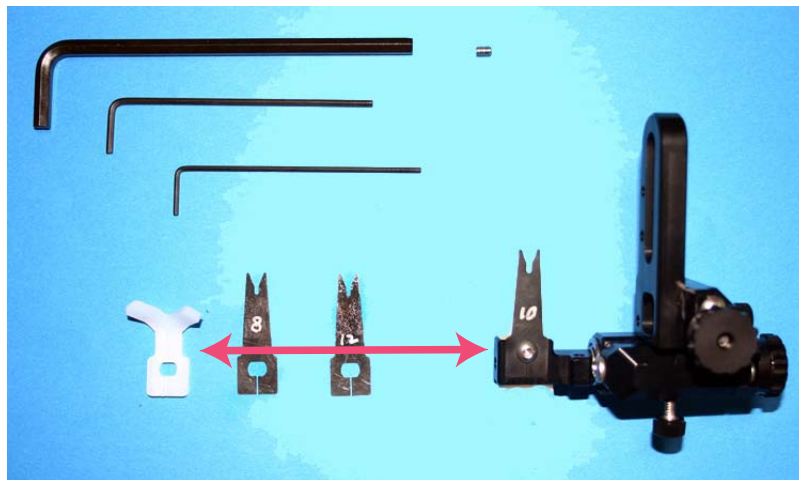
レストのセット角度を調整したい場合には、
付属の六角レンチ(1/16インチ)で底面にある
⑤のねじを緩め、⑥のねじを回します。
右に回すとレストはリフトアップし、左に回すと
ダウンします。

⑤と⑥のねじは、アームテンションを維持
するためのスプリングを保持しています。
絶対に取り外しをしないでください。

②ファールウェイレストとして使用する場合

いくつかの準備作業が必要です。

まず、レストアームに取り付けられているブレードをY字型のパーツに交換します。

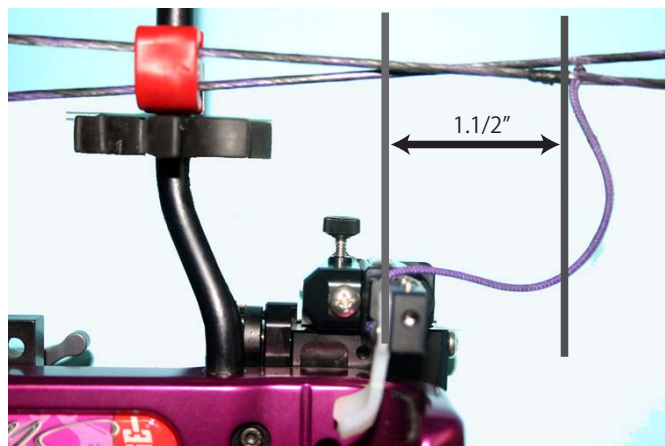
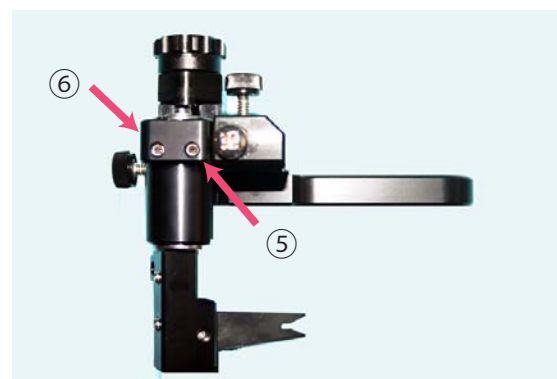


調整 -1

レストの取り付けとセンサーコード*の準備

まず付属の六角レンチ (1/16 インチ) で底面にある⑤のねじを緩め、⑥のねじを左に回します。レストがダウンしますので、レストアームがほぼ水平になる位置で止めてください。次に緩めてあった⑥のねじを締めて行きますが、このねじはリフトアップの量を制限するためのものです。必要以上にリフトアップしないように使用されるアローシャフトの口径等に合わせ適宜調整してください。(推奨するレストのアップ角度は40度から45度前後です)

* 製品には添付されておりませんので各自でご準備下さい。
口径 1.8~2.0 ミリ程度のものが理想的です。



続いて、レストを弓に取り付けラフにセンター出ししておきます。

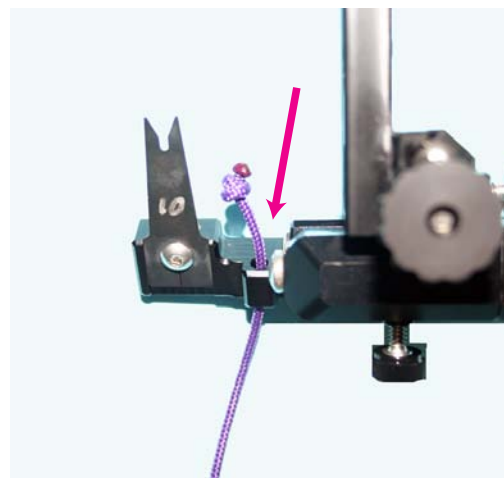
次にケーブル (フルドロー時に下方向に移動するケーブル) にセンサーコードのストッパーサービングを取り付けます。位置はレストの高さより下方に約 1.1/2 インチあたりとし緩まないように確実に締めこんでください。

メーカーの説明書のハーフヒッチ方式では緩みやすいのでケーブルを二分しサービング糸をはさみこんでからサービングを巻きつけることをお勧めします。

ケーブルを二分する際にはボウプレス等を使用する等安全に留意してください。

ストッパーサービングの取り付けが終わりましたらレストのセンサーコード取り付けホールに用意したセンサーコードの末端をきのこ状に溶解処理し1回縛ってから通します。

次に、ケーブルを二分しセンサーコードのもう一方を通しておきます。



調整 -2

リフトアップの調整

続いて、フルドロ時レストアームが正しい状態でリフトアップするようにセンサーコードの長さを調整します。この作業のためには Hooter Shooter のようなドロイングマシンないしはドロイングを固定するジグないしは手段が必須となります。



セットをドロイングし、フルドロまで 1.1/2 インチの位置で固定します。

この時にレストアームが意図する高さまでリフトアップするようにセンサーコードの長さを決めてマークします。一旦ドロイングを戻し、センサーコードのケーブル側の末端をケーブルから外れないような大きさにきのご型に熱溶解します。

(この際ストリングやケーブルが熱ダメージを受けないよう細心の注意を払ってください。)

再びドロイングしフルドロまで 1.1/2 インチ位置でレストアームが意図した高さまでリフトアップしていることを確認してください。

続いてフルドロしレストアームの高さが変動していないことをチェックしてください。

1.1/2 インチの位置からフルドロにかけてレストアームの高さが変化する場合には、底面のリフトアップ調整ねじを可変したりセンサーコードの長さを変えるなどして 1.1/2 インチからフルドロにかけてレストアームの高さが変化しない位置を発見してください。

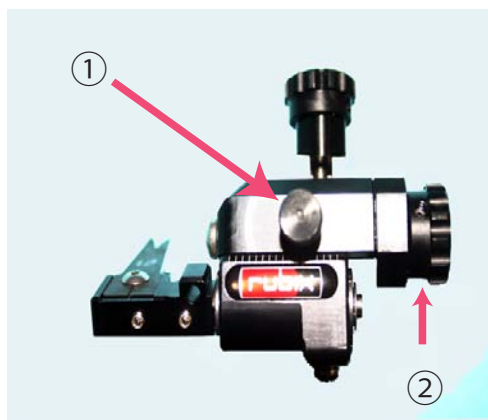
●重要

レストアームの高さが変化する調整でシュートするとアームの倒れこみが早くなりすぎてアローのダウンヒットの原因になる可能性があります。ご注意ください。

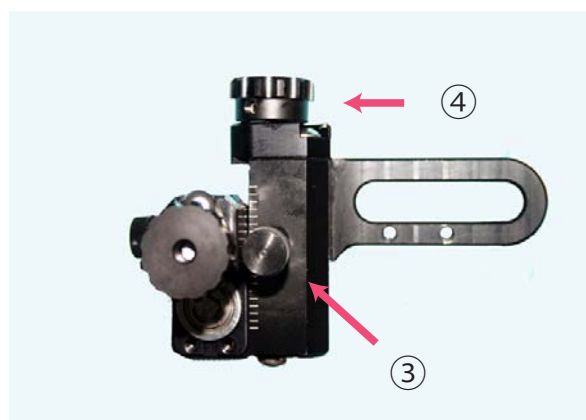
調整 -3

レストの位置調整

ブレード仕様の場合と操作は同じです。



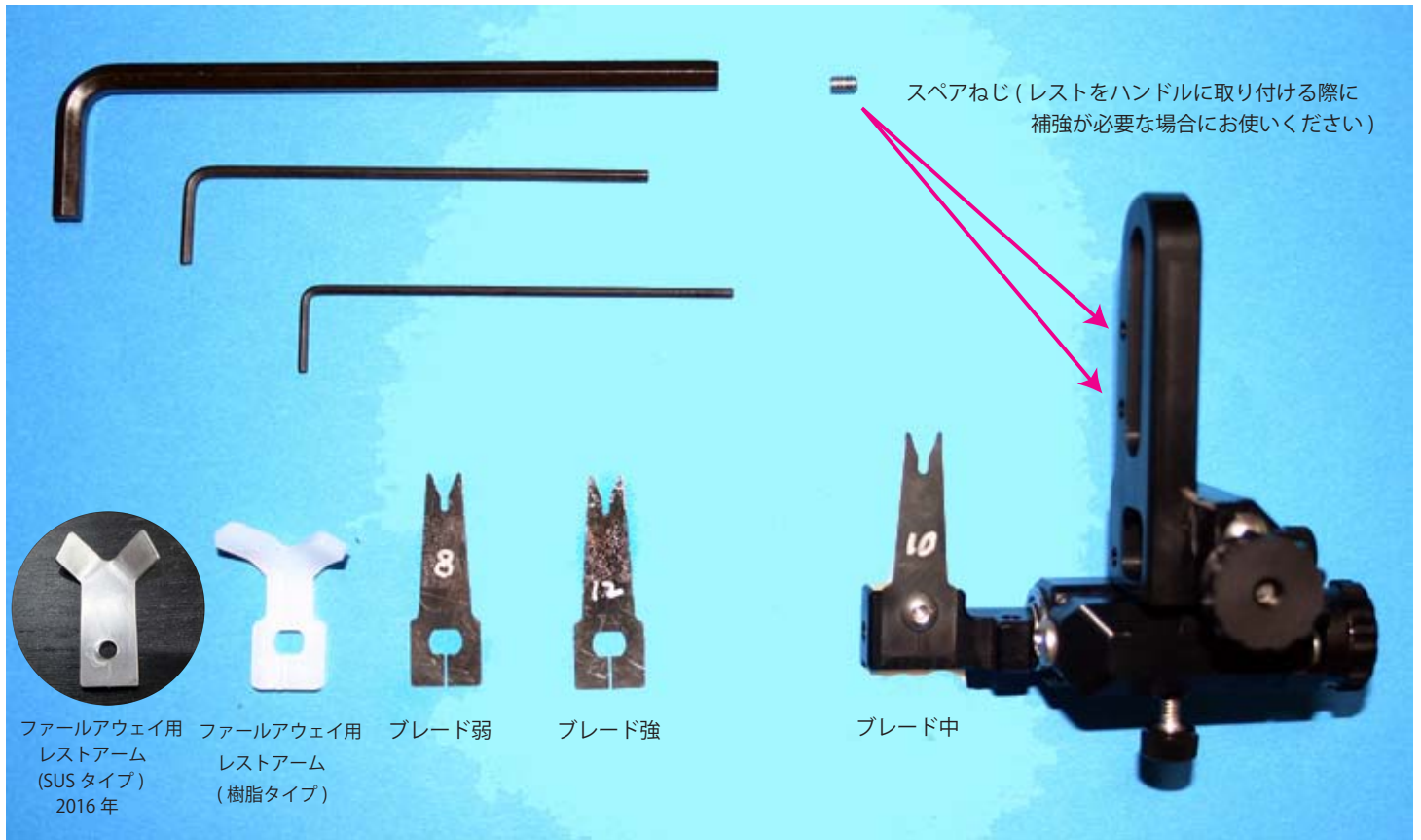
左右を調整する場合には①のノブを緩め、②のダイヤルをクリックします。ダイヤルを手前に回すとレストは左に、前方に回すと右に移動します。



上下を調整する場合には、③のノブを緩め、④のダイヤルをクリックします。ダイヤルを右に回すとレストがダウン、左に回すとアップします。

1 クリック当りの調整幅は約 0.003" (0.0762mm) です。

同封されている付属品



- ☆ 写真には掲載されておませんがハンドルライザーへの取り付け用として 5/16" -24(3/4 インチ長) と平ワッシャーが同封されております。
- ☆ ファールアウェイ用のセンサーコードは同封されておられません。D ループ用ロープ等を別途ご用意ください。(1.8~2.0 ミリ程度が適当です)
- ☆ ターゲット用ブレード等は消耗品です。金属疲労等が発生しやすいパーツですので、まめな点検と交換をお勧めします。
- ☆ ファールアウェイ用レストアームは樹脂製と SUS 製があります。樹脂製は摩滅が SUS 製より早いのでまめにチェックをお願いいたします。SUS 製は丈夫ですが、アロー側の摩滅は樹脂タイプより大きいと言えます。アローの状態のまめな確認をお願いいたします。尚、2016 年より純正品の樹脂タイプのレストアームは供給がストップされたため日本国内で制作した SUS タイプのみの供給となりますのでご了承下さい。



www.coatl-head.com

www.facebook.com/amagaeru.koji

www.facebook.com/CoatlHead

CoatlHead

Ver 2016.4.1